

議会だより第40号

平成26年度

各会計決算を認定

第3回定例議会が8月25日から9月29日までの36日間の会期で開催されました。
この定例議会では、市長から提出された平成26年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか13議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、承認、認定されました。
また、議会に提出された請願4件及び陳情1件については、審議の結果、各請願とも賛成少数で、陳情については賛成者なく不採択と決定されました。

主な議決内容

○防犯カメラをJR大原駅前駐輪場など市内9か所に設置する工事費を含む平成27年度一般会計補正予算については全会一致で可決されました。
○社会保障・番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、いすみ市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例が制定されました。

平成27年第3回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度いすみ市一般会計補正予算（第2号））	承認
議案第2号	いすみ市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市個人情報保護条例の一部改正について	可決
議案第4号	いすみ市手数料条例の一部改正について	可決
議案第5号	平成27年度いすみ市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第6号	平成27年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	平成27年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第8号	平成27年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第9号	平成27年度いすみ市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第10号	平成26年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定

議案番号	件名	採決結果
議案第11号	平成26年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第12号	平成26年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第13号	平成26年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第14号	平成26年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認定
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成26年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成26年度資金不足比率について	報告
報告第3号	継続費の継続年度終了による精算について	報告
請願第1号	「安保関連法案」を可決しない旨の参議院に対する意見書の提出を求める請願	不採択
請願第2号	「安保関連法案」を廃案にする旨の衆議院に対する意見書の提出を求める請願	不採択
請願第3号	「安保関連法案」を撤回する旨の内閣に対する意見書の提出を求める請願	不採択
請願第4号	安保関連法案（平和安全法制整備法、国際平和支援法）の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願書	不採択
陳情第1号	緊急に介護報酬の再改定を求める陳情書	不採択



決算 審査 報告

平成26年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月15日、16日の2日間にわたり委員会審査を行いました。

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑と視察が行われました。なお、特別委員会では全ての決算が認定され、9月29日の定例議会最終日に、委員長より審査内容と結果が報告され、採決の結果、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるよう検討されるべく、市当局に対し次の事項を委員会より要望しました。

1. 統合型GIS整備事業については多額の費用をかけて導入しているが、今後各部署での運用にあたり、事務処理における利便性や費用対効果の向上が図られるよう要望する。
2. まちづくり市民提案事業については、事業の費用対効果や必要性・有効性について再検証し、今後の事業の進め方について抜本的に検討されるよう要望する。
3. 電算システムの委託料及び使用料の契約事務については、同一業者1社による随意契約が見受けられる。各部署間での共有したシステムの運用、また、システムのノウハウ等職員では対応できない部分も理解はできるが、独占価格とならないよう各業務の価格について十分に協議・検討し予算化されるよう要望する。
4. 負担金及び補助金については、より一層の精査を行うとともに算出根拠の

見直しも考慮し、適正な予算措置が図られるよう要望する。

決算審査特別委員会

委員長	麻 生 実
副委員長	中 村 松 洋
委 員	押 尾 武 志 久 我 朋 司 山 高 森 和 田 森 井 子 横 山 正 明 樹



▲決算審査特別委員会の様子

Q&A 一般質問 市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、8月27日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(第3回定例議会の会議録は12月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重議員	市民の健康を守るための特定健診等の取組状況及び効果／「市民が主人公」今後の市の運営
高森和久議員	市立図書館の設置／公共施設整備計画に沿った公共施設の見直し／統合型GIS整備によるデータの幅広い活用
山口朋子議員	保育行政／障害者支援
田井秀明議員	選挙権年齢の18歳引下げに伴う市の対応／子どもの貧困対策と子育て支援策／不正アクセスによる個人情報流出への備え／COPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防
荒井 正議員	市内交通網の充実／来年度予算編成／改正介護保険法による「地域支援事業」の実施に向けた準備態勢
久我 司議員	サーフィンによる地域振興策／教科書採択



市民の健康を守るための特定健診等の取組状況及び効果
岩井豊重議員

答
取組みが相互に効果を表してきたと考
える

岩井議員 健康管理体制の充実を目標に、糖尿病などの生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導を重点的に進め3年が経過したが現段階での成果について具体的にどのように見ているか伺いたい。
市長 生活習慣病の増加とともに糖尿病の重症化に伴う人工透析が必要となる方が増加していたことから、特定健診と併せて腎機能検査を無料で実施し、腎不全の早期発見や早期治療によって糖尿病性腎症を始めとする腎機能障害の重症化を防ぎ透析への移行を予防するため、平成23年度から糖尿

病予防対策事業に取り組んできました。
また、食生活改善協議会の地域伝達活動、健康公開講演会、健診結果説明会や糖尿病教室においても重症化予防の必要性について周知を行ってきました。

これらによって平成23年まで増加していた透析患者数は、平成24年から横ばい状態となっております、これまでの取組みが相互に効果を表してきたと考えています。

市立図書館の設置
高森和久議員

答
現在のシステムを充実させ、図書館整備を進めていきたい

高森議員 図書館設置の場合には大きな規模の建築物が必要となるが、3か所ある文化会館を転用する考えがないか伺いたい。
生涯学習課長 図書やそれ

らに付随する資料の保管場所、閲覧場所、さらに幼児が利用できる部屋などを考えると広い場所が必要と考えられます。

文化会館の建物すべてを図書館というわけにはいきませんが、文化会館や公民館などに図書館を併設することは、利用者にとっても非常に便利であり、現在の図書管理システムをそのまま利用できることから、設備面からも図書館として整備することは経費節約にもつながり可能であると考えています。

現在の施設の利用状況等を考慮し図書館としての設備や部屋の面積が十分取れる施設を中央図書館として再整備し、経費削減を図るとともに、新刊図書などの増書や図書の内容を充実させ、他の公民館を支所としてどこ

の公民館でも借りられ、また、返却できる現在のシステムを充実させることで図書館を身近に利用してもらおうことも可能と

保育行政
山口朋子議員

答
今後の検討課題とする

山口議員 地域のニーズに合わせて夷隅保育所を認定こども園にする考えはないか伺いたい。
福祉課長 昨年度策定したいすみ市子ども・子育て支援計画の中に、「保育所統廃合を推進しながら、財政面・人材面など総合的な判断のもと、認定こども園化も推進します。」と記載していますので、統合の終わっている夷隅保育所の認定こども園化について、先進地視察等で情報を収集し、その後保育所整備委員会の委員の意見をいただいた中で今後の検討課題として考えています。

選挙権年齢の18歳引下げに伴う市の対応
田井秀明議員

答
主権者教育の一層の充実を図る

田井議員 選挙権年齢の18歳引下げに伴う市の対応について、具体的な啓蒙の事業計画はあるか伺いたい。
選挙管理委員会委員長 現在、当委員会では具体的な事業計画はありませんが、従来より若者の政治参加意識の向上として、成人式での啓発パンフレットの配布、市内小・中学生への明るい選挙啓発ポスターと標語の作成依頼、児童・生徒会選挙時における選挙用具の貸し出しを行っております。
今回の改正により選挙権年齢が引き下げられたことにより、総務省と文部科学省が連携し、政治参加に関する教育のため

の高校生向け副教材を作成し、すべての公立・私立高校生への配布と広報誌、ホームページ等を利用した啓発を行うとともに、周知ポスター及びリーフレットの作成、シンポジウムやワークショップの開催などが予定されていると聞いています。

また、千葉県選挙管理委員会においても関係機関と連携し、主に高校生を対象とした主権者教育の充実や選挙権年齢の引き下げについて、県民への周知啓発を図ることが検討されています。

こうした実情を踏まえ、当委員会では、従来行っている啓発活動に加え、総務省及び千葉県選挙管理委員会の取り組む啓発事業を活用し若者の政治参加意識を促進する取り組みを行い、市教育委員会と連携をして主権者教育の一層の充実を図るとともに、広報誌、ホームページによる周知啓発を行いたいと考えています。



市内交通網の充実
荒井 正議員

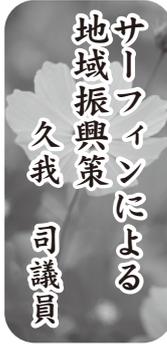
答
大原巡回線で1便あたり平均2・5人、長者町駅始発で平均7・4人であり、利用者へはデマンド交通を紹介し理解を得ている

荒井議員 休止路線の利用状況はどの位あったのか、また、休止路線の利用者の反応と意見について伺いたい。

企画政策課長 平成26年度の実績ベースで大原巡回線の利用状況は1日6路線31便で、年間利用者数1万6596人、1便あたりの利用者数は平均2・5人となっています。また、市内循環線内回りで運休となる長者町駅始発の1便及び2便については、年間利用者数3611人、1便当たりの利用者数は平均7・4人となっています。

市内循環線内回りの運休となる長者町駅始発の

2便については、利用者からの意見・要望はいただいておりません。また、大原巡回線の運休については、電話、ご意見メモ、行政協力員を通じて運休の経緯について問い合わせ等をいただいておりますが、意見・要望をいただいた方が明確な場合は路線別の利用者数、収支率等のバス交通運行実績の説明及び代替措置としてデマンド交通を紹介してご理解をいただいております。



サーフィンによる地域振興策
久我 司議員

答
いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略でサーフィンによる活性化を位置づける

久我議員 サーフィンによる地域振興と活性化について考えを伺いたい。

市長 当市はサーフィンの歴史が長く伝統ある地域であり、一年を通して波に恵まれ多くの大会が開

催されるなど、サーフィンができる魅力から移住してくる方も少なくありません。

その一環として、毎年開催しているサーフタウンフェスタには多くの若者が市外から参加しているため、いすみ市に興味を持っていただきサーフィンを楽しみながら生活できる地域づくりを進めていくことも、地方創生の一つのポイントと考えています。

今年は大東海岸を中心に第50回全日本サーフィン選手権大会が開催されていますので、今後も全国規模の大会誘致を積極的に行い、交流人口の拡大や若い人の移住に向けて移住・定住政策を推進していきたいと考えています。

また、大会の開催により多くの人が訪れることは宿泊などを中心に消費の拡大、地域経済の振興にもつながりますので、いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略においてサーフィンによる活性化を位置づけ、地域振興と活性化に向けて考えていきます。

**市政を知るために
議会を傍聴しませんか**
第4回定例議会日程(予定)

12月1日(火)10時	開会
3日(木)10時	議案の上程 一般質問
8日(火)10時	議案質疑
10日(木)9時	委員会
11日(金)9時	委員会
18日(金)10時	委員長報告 議案審議
	閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会には誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けをお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

.....

編集 議会だより編集委員会
TEL 0470-621406
ホームページアドレス
<http://www.city.isumi.lg.jp/>
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp